

令和2年度県央保健所ギャンブル等依存症啓発セミナー開催要領

- 1 目的： ギャンブル等依存症は、適切な治療と支援により、回復可能な病気である一方、依存症の中でも、病気であることを認識しにくい特性もあり、依存症者や家族が必要な支援を受けられていない状況があります。
依存症者の回復には、孤立させない環境を整えることが大切で、社会全体で正しく理解し、対応していく必要があります。
今回、ギャンブル等依存症問題の関心と理解を深めるとともに、依存症者及び家族が地域社会で孤立することなく、回復に向けた支援を受けることができるようになることを目的として、セミナーを開催します。
- 2 主催： 県央保健所ギャンブル等依存症対策地域関係者検討会、長崎県県央保健所
- 3 開催形態： Cisco Webex Meetings を使用してのオンライン研修会
- 4 対象： 一般、医療・保健・福祉・教育・司法関係者 等
- 5 日時： 令和2年10月17日（土） 14：00～17：00
(Web 接続13：30から開始)
- 6 内容：
 - 14:00～ 開催挨拶 長崎県県央保健所 所長 宗 陽子
 - 14:05～ 講演 「ギャンブル等依存症について」
長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部
教授 今村 明 先生
 - 15:05～ 質疑・応答 (15:15～ 休憩)
 - 15:20～ パネルディスカッション
テーマ「ギャンブル等依存症は、回復できる病気です。
～ 回復者、家族、支援者からのメッセージ・支援状況 ～」
コーディネーター： 穂山 明正先生
(県央保健所ギャンブル等依存症対策地域関係者検討会長)
助言者： 今村 明先生 (長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部教授)
 - 司法の取組み 三宅 敬英氏 (諫早総合法律事務所 弁護士)
 - 医療機関の取組み 田中 茉麻氏 (あきやま病院 精神保健福祉士)
 - 家族会からのメッセージ 古豊 史子氏 (全国ギャンブル依存症家族の会長 長崎)
 - 回復者からのメッセージ 菅 公臣氏
(ギャンブル依存症回復施設 グラフ・ながさき)
 - 16:25～ 質疑・ディスカッション
 - 16:55～ 閉会挨拶 県央保健所ギャンブル等依存症対策地域関係者検討会
会長 穂山 明正 (あきやま病院長)
 - 17:00 閉会